

概 要
第 31 回 市民と市長の対話ひろば ～もりりんと語ろう、宝塚市の未来～ テーマ：市役所周辺エリア（シビックゾーン）の未来を語ろう！～スポーツセンター・末広中央公園・河川敷などをもっと楽しく！使いやすく！～
日時：令和 8 年 7 月 28 日（火） 午後 2 時～午後 4 時 場所：西公民館 ホール 参加者：29 名 出席者：森市長 都市安全部 江崎部長 他 都市整備部 中村部長 他 社会教育部 藤田部長 他
《市長のテーマ説明》 1. 趣旨 ・市役所周辺エリア（シビックゾーン）の公共施設の現状を共有した上で、今後のあり方について市民の意見や要望を聞き、集約・検討したい。 2. シビックゾーン内の各施設の現状と課題 ・市役所本庁舎、第二庁舎 本庁舎は築 46 年（村野藤吾氏設計）で永続性のあるデザイン。今秋には市民ホールを開放予定。第二庁舎は築 4 年と新しい。市役所前ひろばは、マルシェやキッチンカーなどで活用している。 ・末広中央公園 築 22 年。阪神淡路大震災の経験に基づく防災公園（貯水槽やベンチなどの防災ツールを配備）。普段は憩いの場やイベント会場として広く活用されている。 ・中央公民館 築 7 年で新しい。集会や自習室等で活用。 ・末広体育館 民間からの譲渡物件であり、築 55 年で老朽化が目立ち、エアコンがなく利便性に課題。建て替えが必要な時期。 ・武庫川河川敷 県管理の土地だが市の公園として指定・管理している。（テニスコート、フットサル、ハーフマラソン等で活用） ・スポーツセンター 総合体育館、武道館（築 40 年）、屋外プール管理棟（築 37 年）、屋内プール（築 34 年）、テニスコート、野球場などがあるが、全体的に老朽化。駐車場の不足・出入り口の混雑も課題。水回りの施設は維持・修繕に多額の費用がかかる。 ・教育総合センター（本館・分室） 本館は築 34 年。分室は築 57 年と非常に古く、対応が必要。不登校支援や教員研修、図書分室などで利用している。

3. 本市が抱える共通の課題

- ・人口倍増期（約 55 年前）に整備された施設が多く、今後 10～20 年で一斉に更新時期を迎える。
- ・人口減少により管理人員や税収が減少し、現行施設の管理・維持が困難。
- ・市全体の赤字は今後 10 年で約 23 億円を見込む。前年の 63 億円から縮小させたが依然として厳しい。
- ・各施設の年間維持費・改修費が多額（例：修繕・管理費等でスポーツセンター毎年 2～3 億円規模、市庁舎毎年 3 億円規模、中央公民館毎年 6000 万円など）。人口減に合わせて施設面積（サイズ）の縮小を検討せざるを得ない状況。
- ・市役所内でも人手不足や業務負担の増大が課題となっている。

4. 今後の解決策（官民連携の導入）

- ・市の資金や力だけでは困難なため、民間事業者のアイデアやノウハウを取り入れる。
- ・国土交通省の補助金を活用し、行政・市民・民間の連携による事業プロセスの検討を進める（1 年間の計画）。
- ・民間参入（公園へのカフェ設置やスポーツ施設の民営化など）を進める一方で、障害者向け教室のような「公益性の高い事業」は行政が責任を持って保護・継続する。

5. 市民への意見協力・参加の呼びかけ

- ・今秋にワークショップを開催予定している。
- ・本日の対話のほか、アンケート（二次元コード）を通じた意見提出も可能。
- ・施設の不満点・改善案、イベントや渋滞対策などのアイデアを幅広く募集する。

《対話》

1 参加者【武庫川河川敷（左岸側）の公園化および活用について】

- ・市役所側の右岸だけでなく、左岸側（美座エリア等）についても都市公園として指定・供用開始してほしい。
- ・現在、地元住民がボランティアで草刈りなどを行っているが、正式な公園となっていないため制約がある。学校のグラウンドと違い制限のない河川敷の広大なスペースを活用し、高齢者のグラウンドゴルフやゲートボールなどが楽しめる場として開放してほしい。

➡市長

- ・現状として右岸側と左岸側で使い方が異なっている点を認識した。具体的にどのような使い方をしたいかという意見を受け止め、今後の検討課題として参考にさせていただく。

2 参加者【高司グラウンドの駐車場不足と中央公民館の駐車料金について】

- ・高司グラウンドは少年野球やサッカー、ソフトボール等で利用されているが、駐車場が狭く、試合ごとの車の入れ替えに時間がかかっている。西側にある企業の駐車場は日曜日に空いているため、市から働きかけて借り受けるなど（補助を含め）の対策をしてほしい。

・西公民館には 1 時間無料等の割引サービスがあるが、中央公民館にはない。ホール利用等で 2～3 時間利用することもあるため、割引サービスを検討してほしい。

➡市長

・高司グラウンドはシビックゾーン外の施設だが、駐車場の狭さは認識している。周辺企業への貸出交渉など、すぐには難しい部分もあるが検討する。

・市役所や中央公民館の駐車場は、本来の来庁者向けの利用を想定している。割引をしすぎると車が停めにくくなる懸念や、昨年基準を定めた経緯があるため現状は 1 時間無料が基本となっている。利用者目線のご意見として受け止め、何ができるか改善に向けて検討する。

3 参加者【武庫川河川敷への日陰（植樹・休憩施設等）の設置について】

・河川敷で 15 年近くグラウンドゴルフのチームを主催しているが、グラウンド周辺に全く日陰がない。以前植えられた木は増水時の流下阻害を理由に伐採されてしまった。河川敷のすぐ際ではなく、末広中央公園側のエリアであれば、水の流れを阻害せずに木を植えられるのではないか。

・他の地域（西宮市など）の武庫川河川敷には木が多くある事例もある。県にただ従うだけでなく、河川敷の利用者が暑さ対策できるよう、抵触しない形でアイデアや工夫を出してほしい。

➡担当部

・河川敷は、雨が降れば水が流れる場所という河川計画上の位置づけがあり、県から過去にベンチの設置を断られた経緯がある。

➡市長

・大水の際の安全確保や、流れの妨げになるものを置かないという原則があるため、県・市を問わず河川敷内への設置は難しいと考えている。

・堤防上など川の流下阻害にならない場所（道路沿い等）への工夫といった意見やアイデアを踏まえ、今後のワークショップも含めて実現可能な方法がないか前向きに検討していく。

4 参加者【スポーツ施設の利用料や大規模イベント（花火大会・夏祭り）の開催について】

・スポーツセンターの多目的グラウンドは有料（1 回 1,950 円）かつ予約が取りづらいが、河川敷は無料で使用できるのか。有料施設は申し込みの難しさもあり、利用実態について疑問がある。

・昔は盛大な花火大会や、末広中央公園での賑やかな夏祭り（盆踊りや歌手を呼ぶなどのイベント）があり楽しかった。最近はそうした大規模な催しが減っているように感じるが、今後花火大会の復活や、有名歌手を呼ぶような盛大な夏祭りを再開するアイデアはないのか。

➡市長

・河川敷は無料、スポーツセンターの多目的グラウンドは有料、学校の校庭はコミュニティ利用など、それぞれの場所で性格や仕組みが異なっており、状況に応じて使い分けられている。

・花火大会は警備にかかる莫大な費用、火を扱う危険性、騒音問題、現在の厳しい財政状況などを踏まえると、市として開催することは非常に困難な状況である。

・地域のお祭り（盆踊りなど）は隣接する末広小学校や各自治会・まちづくり協議会等で引き続き開催されている。末広中央公園等でも各種フェスタ等のイベントを行っているが、近年の猛暑を考慮して開催時期の変更を調整中である。市が主催するだけでなく、イベントを行いたい団体などと連携しながら活用方法を考えていきたい。

5 参加者【末広中央公園での「プレーパーク」の実施と「自主的な花火」の相談について】

- ・末広中央公園で、子どもたちが自由に遊べる場所としてのプレーパークを実現したい。
- ・ビアガーデンのようなイベントの流れに合わせて、子どもたちが季節を感じられるように公園で花火をやりたいが、どこに相談すればよいか。

➡市長

・公園はぜひ活用してほしい場であり、行政が主体となるよりやってみたいという民間や団体が主体となる取り組みを歓迎する。

・花火は市が大規模に主催すると多額の警備費用がかかるが、地域やコミュニティ（例：宝塚きずな花火など）が主体となって小規模・自主的に行う形であれば、喜んで協力したい。

➡担当部

プレーパークなど公園利用の具体的な相談窓口は公園河川課となるため、担当へ問い合わせてほしい。

6 参加者【末広中央公園の PR、防犯対策、公園利用の工夫、マラソン大会、教育センター図書の貸出について】

・防災公園である末広中央公園に平和の鐘があるのは素晴らしいことなので、市の公式資料や PR でもしっかり紹介してほしい。

・末広小学校と武庫川の接する付近（河川への通路付近）で、違法駐車やそこで寝泊まりしている車が見受けられるため、防犯カメラの設置などの対策をしてほしい。

・末広中央公園のステージ周辺で子どもがドッジボールをして怒られていることがある。ボール遊びができるよう、照明に網をかぶせるなどして壊れないように補強できないか。

・宝塚ハーフマラソンについて、名称はハーフマラソンだが実際は 10 マイル（約 16km）なので、距離を 21km（ハーフ）に延ばすことはできないか。

・教育センターにある発達障害等の教職員向け専門書は、現状閲覧のみで一般への貸出が不可となっているため、市民への貸出もできるようにしてほしい。

➡市長

・平和のシンボルである平和の鐘の存在について、今後の紹介資料等にしっかり反映していきたい。

・違法駐車について現地の状況について確認する。

・末広中央公園のステージの補強等についても検討する。

・教育センターの図書貸出については、教職員用の専門書として保管されている理由（必要な時に見られない懸念）を確認しつつ、市民への開放や図書の充実について確認・検討

する。

7 参加者【子どもたちの遊び場確保、水害時の排水不安、および道路・公園等の草刈り管理について】

- ・東洋町付近はお子さんが多く、学校の部活もなくなる中でドッジボールができる場所がほしいという声がある。スーパーマーケットの下あたりにロープを張るなどしてボール遊びができるようにできないか。
- ・近年の強い災害や豪雨を懸念している。シニアの方が芝を刈っているが、草の細かい破片が排水溝に溜まっており、大雨の際に水害が起きないか心配である。
- ・バス停付近に草が生い茂っており、これまで自主的に草刈りやゴミ拾いを行ってきたが、体力的な限界がある。
- ・ここは市、ここは県、という区別が住民に分かりにくく、誰も手をつけていない場所もあるため、管理主体を示す立て看板を設置するなどしてほしい。ボランティアが報われる仕組みや配慮がほしい。

➡市長

- ・遊び場について、指摘事項として受け止める。
- ・東洋町周辺の具体的な場所（東洋町公園やホームセンター周辺、水路・フェンス下など）について、市が管理すべき公園や公共の場所であるかを含め、現場の状況を確認する。
- ・市と県の管轄の件や、いただいた要望・心配事について持ち帰り、確認の上で対応を検討する。

8 参加者【シビックゾーンの一体感不足と民間店舗（レストラン・カフェ等）の誘致について】

- ・市役所裏（阪神シニアカレッジ周辺）にかつて洒落た公園等を作る話があったように思うが、現状は空き地のようにになっている。
- ・現在のシビックゾーンには楽しい賑わいや一体感が全くなく、道路等で分断されている印象がある。市役所周辺にあった洒落たレストランやカフェがなくなり寂しい思いをしている。
- ・シビックゾーン全体に人が集まり楽しめるような雰囲気（レストランやカフェの出店など）を作り出すことが最も大事なことで、ぜひそうした環境づくりに努力してほしい。

➡市長

- ・市役所裏（阪神シニアカレッジ周辺）には洒落たといえるかわからないが公園はある。
- ・ご意見の通りであり、スーパーマーケット周辺の方が賑わっているという指摘もその通りだと受け止めている。
- ・これまでは計画が明確でないまま施設ができてきた経緯があるが、今後はシビックゾーン全体をトータルで見直し、レストランやカフェなども含めて人が集まって楽しめる空間になるよう検討していきたい。

9 参加者【末広中央公園におけるグランドゴルフ等のボール遊びの許容（一般利用との共存）について】

- ・河川敷への木陰設置が難しい現状を踏まえ、お金をかけない代替案として末広中央公

園の活用を提案したい。末広中央公園の芝生エリア（例えば 50m 四方など）で、春・夏休み等を除く平日の時間帯に、グランドゴルフ等（芝生を傷めず、遠くに飛ばない安全なスポーツ）を行えるようにしてほしい。

・他の人が入れないように排除（占拠）するのではなく、一般の人でも自由に出入りできる共存のゾーンとしての利用拡大を検討してほしい。

➡担当部

・完全に参加者専用としてエリアを排他的に区切る形であれば難しいが、具体的な公園利用については個別にご相談をさせていただきたい。

10 参加者【河川敷のトイレ整備、公園利用への懸念、および市役所前ひろばの活用等について】

・仁川より西宮市側にはトイレがあるが、市役所周辺の河川敷エリアにはまとまったトイレがなく不便。スポーツやサイクリング利用時のトイレ事情が心配。

・日陰については、チームでテントを持ち寄るなどの工夫も考えられるのではないかな。

・末広中央公園でグランドゴルフ等の専用ゾーンを設けることについて、一般の子供たちも遊ぶ中で人が入り混じり、かえってやりづらくなるのではないかな。また、他のスポーツ（サッカー等）との公平性や、一般利用者からの苦情（邪魔だという声）などの問題が起こる懸念がある。

・市役所前ひろばをイベント等でさらに活用し、賑わいを取り戻せないかな。

・いっそ大型商業施設ができれば賑わいが出るのではないかな。

➡市長

・トイレの設置には多額の費用がかかるため簡単ではないが、このエリア全体のトイレ等の利便性をどうするかは重要な課題として考えたい。

・末広中央公園利用の懸念や共存の難しさ、トラブルの可能性といった指摘についても、公園の使い方の検討にあたってしっかり受け止める。

市役所前ひろばの活用について：

➡担当部

・市役所前ひろばは、第二庁舎の整備に合わせて、市民が憩える庭として整備し、これまでも補助金を活用したイベント等を募ってきた経緯がある。今回のシビックゾーン全体の活性化に向けたワークショップや事業者からの提案募集などを通じて、活用方法をさらに考えていきたい。

➡市長

人口減少やマーケティングの観点から、市内での新たな大型ショッピングモールの誘致は現状では難しい面がある。普段の買い物の利便性や楽しさをどう作っていくかについては、知恵を絞っていきたい。

11 参加者【スケートパークの設置と市役所前ひろば等の活用について】

・子どもがインラインスケート等をしており、大会に出場するような経験もあるが、近隣には本格的な施設がなく遠方（川西市や堺市など）まで通っていた。末広中央公園などではボール遊びやスケートボードをする若者を見かけるが、専用施設がないために場所がない・危険だという声がある。スケボーは現在では正式な競技としても認知されているた

め、安全に楽しめるスケートパーク（大会も開ける規模のもの）を作ってほしい。

・市役所前ひろばが現在どのように使われているのか（使っている人が少ない現状や、スケボーに使われている様子など）が気になる。せっかくのスペースなので、有効活用できる環境にしてほしい。

➡市長

・スケートパークについて、私自身も過去にインラインスケート等をやっていた経験があり、現状やニーズはよく理解している。オリンピック等の影響もありスケボー等の認識が変わり、子どもたちを応援したいという機運が高まっているため、安全にスポーツができる環境をどう確保するか、いただいた意見を踏まえて考えていきたい。

・本格的なスポーツやボール遊び、スケボーなどを安全に行える場所のあり方や、市役所前ひろば等の活用方法については、これまでのスポーツの形態の変化なども踏まえつつ、今後の検討課題として受け止める。

12 参加者【企業の力や寄付の活用による街の活性化と財政について】

・宝塚市出身で4人の子どもの持つ親として、市の財政難や勢いのなさを感じている。市民負担（医療費助成の窓口負担など）を巡って市民から意見が出たが、それよりも市内外の企業やマンション等の富裕層に対し、市が積極的に働きかけて寄付や協賛、パートナーシップを募る方が手取り早いのではないかと。

・施設の整備やイベントの要望を叶えるにも資金が必要であるため、行政主導やボランティアだけに頼るのではなく、民間企業としっかりと組んでウィンウィンの関係を作り、街に勢いをつけてほしい。

➡市長

・ご指摘の通り、行政単体でお金がないからと市民負担に頼るのではなく、民間企業の力をどう借りていくかが非常に重要である。宝塚市は、他の自治体に比べても市民や企業の皆様からの寄付・協賛が比較的多いという素晴らしい側面（誇るべき特徴）がある。

・市内には表立った BtoC（企業から消費者へ）の会社だけでなく、実は世界で活躍するような優れた BtoB（企業から企業へ）の大企業なども存在している。単なる支援のお願いではなく、企業にとってもメリットがあるウィンウィンの形を作りながら、街の活性化に向けて知恵を絞っていきたい。

13 参加者【クリーンセンター周辺の有効活用・複合化、および全体の施設再編と市民協働について】

・クリーンセンター新設に伴う管理棟や広場について、どう活用するのか分かりにくい。スポーツセンター等の老朽化を考慮し、クリーンセンターのエネルギー回収（温水プールの併設など）やニュースポーツエリアを組み込んだ複合施設としての建て替えを検討すべきではないか。

・夏のプール利用者が多く、車の駐車場で、接する道路が渋滞している。クリーンセンターや教育総合センターの休業日等に、空いている駐車場を一時的に活用・誘導できないか。

・河川敷内に直接トイレや木陰を作るのが難しいのであれば、周辺の既存公園（末広公園、市役所横、御所前公園、美幸公園など）のトイレへの案内・誘導サインを充実させる

ことで対応できるのではないか。

- ・行政に頼るだけでなく、ボランティアによる草刈り等の市民の努力と協力を活かしつつ、費用を軽減しながら楽しく利用できる仕組みを考えてほしい。

➡市長

- ・これまでは個別に計画されてきた施設が多いが、今後は小浜や売布の拠点も含め、10年・20年・50年先を見据えて全体を効率よく総合的にまとめる（統合・再編する）時期に来ていると認識している。

- ・いただいた意見はすべて記録しており、今後の検討にしっかりと活かしていく。多くの有益な意見・提案をいただき感謝する。